



南宇和病院スタッフ一同は、地域医療に対する熱い思いが、いつか報われ、新しい明日を迎えることができることを信じて、日々がんばっています。

2/12 「愛南に心ある医療を」 愛媛マラソンでPR

今年も南宇和病院スタッフ有志が、2月12日に開催された愛媛マラソンに出場しました。スタッフ有志は、背中に「愛南に心ある医療を」と書かれたおそろいの水色のTシャツを着て、愛南町の地域医療の窮状を少しでも県民の皆さんに知ってもらいたいという熱い思いを背負って42.195キロを走りました。

フィニッシュ地点では、辻浩司副院長がスタッフ手作りのミニ横断幕を広げながらゴールしました。

1/25 食を通じて健康づくり 「あいなん食改味まつり」

「あいなん食改味まつり」（愛南町食生活改善推進協議会主催）が平城交流センターで開催されました。

この催しは、協議会の活動を広く知ってもらうため、会員が日頃学んだ知識を基に料理を作り、地域住民に披露するとともに健康づくりについて考えてもらおうと、毎年開催されています。

会場には各支部の会員が手分けして作った料理が並び、参加者約90名が料理を食べながら意見を交わしました。味まつりに初めて参加したという浅野多子さん（御荘平城）は、「とても美味しかった。こんなにたくさんのメニューを一度に食べる機会がないが、ぜひ家庭でも作ってみたいと思いがらいただいた」と話し、参考になった様子でした。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.76

「梅花と梅干」



イソギンチャクの仲間

そろそろ梅の便りが聞こえて来る季節になった。梅の木は、花で楽しみ、その後に果実でも楽しめる。人間にとって、一石二鳥の花である。

イソギンチャクは、花にたとえられることがある。美しい触手を伸ばして波に漂う姿は、風に吹かれる花のように見える。動かないので海草と間違える人もいるが、立派な動物である。長く伸びた触手で小さな魚やエビを捕まえ、体の中央にある口に運んで食べてしまう。

今回の写真は、触手を縮めた様子が梅干にそっくりだったので、思わずシャッターを切ってしまった。撮影した時には気付かなかったのだが、イソギンチャクの口が、酸っぱい梅干を食べた時のように、すぼまっているので笑ってしまった。花のように見えたり、梅干のように見えたりと、なかなか楽しい生き物である。

すっかり春めいてきたが、海の中の季節は陸上よりも遅れて訪れる。そのため、これからが冬本番である。多くの生き物たちが冬を乗り越え、春を迎えることができますように。

(撮影地：新浦)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

1/10 本多さん(城辺小)と中平さん(中浦小)が優秀賞受賞 「第66回社会を明るくする運動」作文コンテスト

犯罪のない地域社会を築こうと法務省が進める「社会を明るくする運動」作文コンテストで城辺小学校の本多亜呂羽さん(12)と中浦小学校の中平友惟さん(12)が優秀賞を受賞しました。

本多さんは「私たちにできること」と題して地元の夏祭りで広報活動を行った体験をつづり、「今年も広報活動をして社明運動を知ってもらいたい」と力強く話しました。

中平さんは「勇気をもってつながろう」と題して自身の体験から更生しようとする人たちが周りへと心を通わせる手段としてあいさつが大切であることを訴え、「相手のことを考えて行動できる人になりたい」と抱負を語りました。



城辺小学校
本多 亜呂羽さん



中浦小学校
中平 友惟さん

2/7 第13回ぼうさい探検隊マップコンクール 町内小学校 10 作品が入選!!

(社)日本損害保険協会などが実施する「第13回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の入選作品が発表され、全国から応募のあった2,871作品中、中浦小学校が「防災担当大臣賞」、家串小学校が「日本ユネスコ国内委員会会長賞」を受賞するなど、町内6小学校10作品が入選を果たしました。

「防災担当大臣賞」を受賞した中浦小学校の「中浦っ子みんなの命守り隊尻貝チーム」は夜の避難をテーマにナイトマップを作成。校内で行われた授賞式で松岡愛美さん(6年)は「昨年制作した昼の避難マップと併せて地域の方に活用してほしい」と呼びかけました。



中浦小学校「中浦っ子みんなの命守り隊尻貝チーム」



家串小学校「家串スターズ」

町内の入選作品

防災担当大臣賞▶中浦小学校「中浦っ子みんなの命守り隊尻貝チーム」

日本ユネスコ国内委員会会長賞▶家串小学校「家串スターズ」 **審査員特別賞**▶城辺小学校「城の辺守り隊7」

佳作▶中浦小学校「中浦っ子みんなの命守り隊スマイルチーム」、城辺小学校「城辺ええなーし隊」、城辺小学校「城っ子10命守り隊」、城辺小学校「城っ子防災隊」、緑小学校「檜床・大道・中緑チーム」、船越小学校「船っ子防災キッズ」、東海小学校「東海セブンス」

1/15 なーしくんと楽しむスイーツに舌鼓

「なーしくん」にちなんだお菓子が楽しめる「なーしくんのおもてなーしスイーツフェスタ2017」が開催され、親子連れ約150人が町内のパティシエが考案したケーキなどに舌鼓を打ちました。

これは町の新しいお土産開発と商品のPRのために開催されたもので、テーブルには町特産の河内晩かん「愛南ゴールド」を使ったシュークリームや、藻塩を使ったドーナツなど30種類を超えるスイーツが並び、来場者を楽しませました。

鬼北町から友達と一緒に訪れた山本万里さんは「どれもほどよい甘さでおいしい。愛南に来た時は必ず買って帰りたい」と笑顔で話しました。



この日のために準備されたなーしくんのケーキ。
お子さんがなーしくんと一緒に切り分けました

1/30 子ども会の設立を目指して竹馬づくり

馬瀬集会所で地域の小学生を対象とした竹馬・竹ぼっくり作りが行われました。老人会や地域住民らの指導のもと、子どもたちは器用に竹馬を作り上げ、乗り方の練習などを行いました。

主催した馬瀬地区《作って遊ぼ!～竹馬～》実行委員会の岩上晶代さんは「地域に子どもたちがたくさんいるのに、子ども会や子ども向けのイベントがなかった。こういったイベントをすることで、地域にいる子どもたちを知り、子どもたちを見守りながら、交流を通じた地域活性化を図りたい」と話しました。

参加した名村楓馬くん（平城小6年）は「竹馬は初めて作ったが普段話すことのない人たちと話すことができ、楽しかった。今後も交流していきたい」と感想を述べました。竹馬づくりを教えた西平信行さんは「子どもたちが喜んでいる姿を見ると、協力して良かったと思った」と話しました。

実行委員会では、このイベントをきっかけとして子ども会を設立し、今後も活動が続けていく予定です。



2/9 県立病院でシーボーンアートを展示

県立南宇和病院で、ヒオウギ貝を用いたランプシェードなどの作品展示を行う「シーボーンアート作品展」が開催されました。

シーボーンアート愛南教室に通う15名が制作した25作品が展示され、来院者や病院関係者が足を止めて作品を楽しみました。

同教室で作品づくりを教えている酒井やよみさんは「同じ材料を使っても出来上がる作品が違うのが楽しい」と作品づくりの魅力を話し、同教室代表の大石博美さんは「あたたかい光が灯るので、来院者の方々にやさしを感じてもらいたい」と開催の意図を話しました。



前列左から大石さん、酒井さん
後列田中千鶴さん

2/12 愛南町は全推しです!

松山市総合コミュニティセンターで「ふるさとCM大賞えひめ'17」（愛媛朝日テレビ主催）の審査会が行われ、愛南リポーターズが制作した「愛南町は全推しです!」が市町会会長賞（第3位）を受賞しました。

作品は、数ある愛南町の特産品の中からいちおしの特産品を決めることができないもどかしい気持ちを「申し訳ありません」のフレーズに込めて連呼、最後に「愛南町は全推しです!」と締めくくりました。

愛南リポーターズの國光歩代表は「皆さんに楽しんでいただければ嬉しいです。来年のCMと一緒に作ってみたいという方も募集中です」と笑顔。審査会の様子は3月4日(土)15時から愛媛朝日テレビで放送される予定です。



2/5 愛南の冬の味覚が勢ぞろい！ うまいもん市 in あいなん 2017

愛南町の冬の味覚を一堂に味わうことができるイベント「うまいもん市 in あいなん 2017」（愛南食のイベント実行委員会主催）が、南レクログジ前駐車場で開催されました。

当日はあいにくの雨にも関わらず、カキ食べ放題コーナーには予約受付開始前から行列ができるなど、たくさんの方が来場しました。



カキのすくい取りに挑戦！
たくさん取れたかな？



カキ汁は約2千人分を
用意しておもてなし



カキの食べ放題に大満足！

愛南のカキを堪能

カキ食べ放題のほかにも、カキ汁の無料配布や、カキフライ、殻付・むき身のカキ販売、カキの数当てクイズなどが行われ、カキの魅力いっぱいのイベントとなりました。

松前町から家族4人で訪れた林幸哉くんは「カキご飯が美味しかった」と話し、宿毛市から友達と2人で訪れた長尾多加子さんは「初めて参加したがカキがぷりぷりで美味しかった。焼きながら食べるのが良いですね」と満足した様子でした。

イベントを主催した実行委員会の立花弘樹^{ひろき}会長は「例年にと比べると今年はカキが小ぶりだったが、この時期になってだんだんと大きくなり、今が一番美味しくなった。お客さんにぜひ愛南町のカキを堪能してもらいたい」と話しました。

冬の味覚が勢ぞろい

ブリやマグロ、ヒオウギ貝などの水産物、ひがしやま、ブロッコリー、ポンカンなどの農産物、じゃこ天・じゃこカツや鯛めしなどの郷土料理など、さまざまな物産販売が行われ、賑やかなイベントとなりました。



ヒオウギ貝の浜焼き



餅つき体験に笑顔